

学校教育目標

○まじめな子

○あかるい子

○がんばる子



# 安行小だより

安行小学校 3月号

令和5年3月1日

目指す学校像

よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校



## 一年間ありがとうございました

校長 春川 嘉孝

「149年目の朝に」というタイトルから、令和4年度の学校だよりはスタートしました。周りを緑で囲まれ、校庭には「大クス」「アキニレ」「大ケヤキ」。伝統ある学校の雰囲気に満ちた学校です。

今から、40数年前小学生だった私が通った学校も「明治6年開校。」その頃の通学路は、竹藪の中をかき分け、田のあぜ道を通り、少し小高い場所に学校があったので、ちょっとした山登り感覚で頂上に着くと学校がありました。途中には「マネキン工場」があり、スプレーのにおいや人形の様々な形を目に鼻に、さらには、競走馬を飼育している場所まであり、母校の校歌の一番の歌詞の通りの風景でした。校庭の端には「とちのき」その木陰に「二宮金次郎さん」。数年後、プレハブ校舎がたち、通っていた通学路にも車が通り、シンボルの「とちのき」は校庭の中央に構えるようになりました。時間と共に、景色はかわります。けれども、その時、通った気持ちは今も残っています。古くからある学校を、私の親も地域の方も皆で大事にしていたと感じます。

この安行小もそうではないでしょうか。子供たちにとっての「安行小」保護者の皆様にとっての「安行小」地域の皆様にとっての「安行小」。この3つの思いが「一つ」になることが、未来の子供たちを育て、安行の地を豊かにすると考えます。

さて、いよいよ年度末の三月となりました。学校の一年間が過ぎようとしています。「まじめな子、明るい子、がんばる子」の学校教育目標のもと「(互いに)よさを認め、学び合い高め合い、やる気と笑顔あふれる学校」に務めてまいりました。一年間の学校生活を通して、お子さん一人一人のよさを生かし、明るく、がんばれる子となるよう育ててまいりました。それぞれのご家庭では、いかがでしょうか。お子さん、一人一人が違うように、取り組んだこと、がんばったこと、もう少し頑張ればできることは違うと思いますが、それが学校、学年、学級でもあります。学校という集団の中で、どのように成長することができるか、成長させることができたか、気になる一か月でもあります。

先日、すべての学年で「音楽発表会」を実施しました。学校中に音楽が響きわたり、音楽室や教室から一生懸命、友達の声と合わせながら演奏する姿が見られました。そして、当日保護者の皆様の前で、にこやかに、少しの緊張をもちながら、精一杯演奏、演技する姿を見ることができました。それは「がんばっている姿を見せたい」「よりよく成長した自分の姿を見せたい」という思いと態度だったと思います。一生懸命努力して、学級の仲間とともに、よりよい姿を見せよう、見せてくれた気持ちや姿に、私はとてもうれしくなりました。「よりよい姿を求める」ことが成長の原点でもあると思います。



「安行小学校 よいところ」「安行小学校 わが希望」「安行小学校 誉あれ」

今年度の学校教育活動を通して、卒業する6年生のお子さんは、新型コロナウイルス感染症感染防止とともに学校生活を工夫し、様々な行事の先頭にたって活躍しました。3月、卒業する皆さんの活躍を、今から期待しています。そして、進級するお子さんと新しく入学してくるお子さんにとっても、4月からの新しい生活の中で「互いによさを認め合い、高め合える学校」を目指し、ともに、150年を祝いたいと思います。令和4年度がまもなく終了します。一年間のご理解ご支援に心から感謝申し上げます。共によりよい自分を求めて成長する子供たちを育ててまいりましょう。この便りを手にするすべての方が「安行小学校の一員です。」

